

厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
分担研究報告書

小児がん拠点病院を活用した臨床研究基盤のあり方及び新規治療開発に関する研究
(H25-がん臨床-指定-002)

研究分担者 真部 淳 聖路加国際病院小児科医長
臨床研究基盤のあり方に関する研究

研究要旨

日本を統一する小児がん研究グループ(JCCG)設立の動きが順調に進行しており、臨床、基礎面での研究の加速が期待される。そのためには既存の研究グループの協力が必須である。

A. 研究目的

小児がんの臨床研究を推進するためには、診療機能の集約や、個別研究課題の財政支援のみならず、臨床研究をより効率的に実施するための研究基盤が不可欠である。現在、小児がん領域の多施設共同臨床研究グループの運営を統合することが検討されていることを踏まえ、既存のインフラや枠組みを活用し、効率よく中央診断やデータセンターの運営・管理、プロトコル審査、安全性の評価等を実施するために必要な小児がん臨床研究基盤のあり方についても検討する。

B. 研究方法

該当せず

C. 研究結果

2014年10月14日に始まるJCCGに向けた発起人会を受けて2013年6月22日に第1回JCCG準備委員会を開催するに至った。そのためには既存の研究グループ間の協力が必要である。東京小児がんグループ(TCCSG)では、2013年2月の冬の定例会議、5月の総会、7月の夏の定例会議、10月の秋の定例会議において、JCCGの理念を説明し、質疑を行い、意見ならびに疑問点をJCCGの準備委員会に持ち上げて討論した。また、JCCG会において委員長、3名の副委員長を選任した。ワーキンググループとして下記を承認し、メンバーを決定した。

- 1) JCCGの全体構想WG
- 2) JCCG規約WG

3) 法人化WG

4) 事務局体制WG

5) 研究費調整WG

また、JCCGの準備委員会の議事録を、TCCSGのメーリングに公開し、TCCSG全会員の意見を吸い上げることができた。

D. 考察

JCCGの推進には、既存の各グループの意向を尊重しつつ計画を進める事の重要性が認識された。

E. 結論

JCCG発足に向け順調なペースで計画が進行中である。またそれが、TCCSGなどの既存の研究グループの合意のもとに行われていることが確認された。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表
該当事項なし。
2. 学会発表
該当事項なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
該当事項なし。
2. 実用新案登録
該当事項なし。
3. その他
該当事項なし。

厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
分担研究報告書

小児がん拠点病院を活用した臨床研究基盤のあり方及び新規治療開発に関する研究
(H25-がん臨床-指定-002)

研究分担者 森川康英 国際医療福祉大学病院小児外科 教授
臨床研究基盤のあり方に関する研究

研究要旨

日本横紋筋肉種研究グループ（JRSG）の立場から、我が国の小児がん研究組織の統合を目指して活動を行い、準備委員会を組織してJSSG(仮称)の設立を行いつつある。

A. 研究目的

小児がんの臨床研究を推進するためには、診療機能の集約や、個別研究課題の財政支援のみならず、臨床研究をより効率的に実施するための研究基盤が不可欠である。現在、小児がん領域の多施設共同臨床研究グループの運営を統合することが検討されていることを踏まえ、既存のインフラや枠組みを活用し、効率よく中央診断やデータセンターの運営・管理、プロトコル審査、安全性の評価等を実施するために必要な小児がん臨床研究基盤のあり方についても検討する。

B. 研究方法

該当せず

C. 研究結果

2014年10月14日に始まるJCCGに向けた発起人会を受けて2013年6月22日に第1回JCCG準備委員会を開催するに至った。この間、JRSGの立場から他の固形腫瘍研究グループと小児固形腫瘍臨床試験共同機構の場で検討を重ね、JCCG設立に向けて協力、準備を進めることとなった。新たに設立されるJCCGは既存の研究グループのこれまでの基盤を尊重、利用して臨床試験基盤の強化をおこない、研究支援体制、経済基盤等の脆弱性を補強して、我が国の小児がん臨床試験体制の効率的運営を図ることを確認した。これまでに規約、定款、運営機構、事務局体制などに該当なし

に関する討議を行い、法人化への準備が行われるに至っている。

D. 考察

既存の小児がん各研究グループの意向を尊重しつつ計画を進める事の重要性が認識された。

E. 結論

JCCG発足に向け順調なペースで計画が進行中である。またそれが、JRSGなどの既存の固形腫瘍研究グループの合意のもとに行われていることが確認された

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表
該当事項なし。
2. 学会発表
該当事項なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
該当事項なし。
2. 実用新案登録
該当事項なし。
3. その他

厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
分担研究報告書

小児がん拠点病院を活用した臨床研究基盤のあり方及び新規治療開発に関する研究
(H25-がん臨床-指定-002)

研究分担者 堀 浩樹 三重大学理事・副学長
臨床研究基盤のあり方に関する研究

研究要旨

研究要旨：全国規模の小児がん多施設共同研究を推進する研究グループ(JCCG)の設立準備に白血病研究の地域連合体である小児白血病研究会(JACLS)の代表として参画した。また、小児がん拠点病院所属の研究者として拠点病院のあり方について検討した。

A. 研究目的

小児がんの臨床研究を推進するためには、診療機能や人材育成機能の集約と連携とともに国レベルでのリーダーシップ、体制整備が必要である。現在、疾患や地域により独立している小児がん領域多施設共同臨床研究の体制を再構築し、欧米に比肩する研究を実施するためには、小児がん領域の臨床研究基盤のあり方について検討する必要がある。さらに小児がん診療の拠点化を目指す「小児がん拠点病院」の全国多施設共同研究における役割も検討すべき課題となっている。

B. 研究方法

- ① JACLS、およびJACLSが参加する白血病研究のためのinter-groupであるJPLSGのJCCGへの参加について、JACLSとしての参加のあり方について運営会議等で検討した。
- ②海外、とくにアジア諸国における多施設共同研究と小児がん診療の現状、国際連携の可能性について調査した。
- ③小児がん拠点病院の多施設共同研究における役割について検討した。

C. 研究結果

- ①JCCG発起人会、設立準備委員会から示されたJCCGの組織概要、運営方針案に対する意見、助言をJACLS構成員より収集し、JCCG設立準備委員会に提言することができた。また、JCCG会において委員長、3名の副委員長を選任した。ワーキンググループとして下記を承認し、メンバーを決定した。
- ②シンガポール、香港、台湾の研究者と意見交換を行い、各国とも全国規模の多施設共同研究（シンガポールにおいては、マレーシアの国際共同研究）が実施されている状況が確認できた。また、シンガポールはASEAN諸国に

対して積極的に連携している状況が確認できた。

③三重大学医学部附属病院場合、同一地域内の拠点病院である名古屋大学と連携、機能分担を行い、これまでの実績を活かして

- 1) 白血病免疫診断センターとしての機能、
- 2) 小児がん経験者の晩期合併症研究の実施とその成果の新しい治療研究への反映、
- 3) 地域内での後期研修医受入れによる人材育成に取り組むことで、小児がん拠点病院として多施設共同臨床研究へ貢献できると考えられた。

D. 考察

JCCGの推進には、既存の疾患別治療研究グループの意向を尊重し、また、小児がん拠点病院を中心にした地域連携を有効に活用しながら進めることが重要であると考えられた。また、全国規模の共同研究を実施することで、海外の研究グループとの共同研究や試験結果の比較が可能になると思われた。

E. 結論

JCCGの発足、臨床研究支援体制の整備、小児がん拠点病院の機能活性化等を通じて、本邦における小児がん診療の向上、国際通用性のある成果の公表、新薬開発などの科学技術の発展が期待される。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表
該当事項なし。
2. 学会発表
該当事項なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
該当事項なし。

2. 実用新案登録
該当事項なし。

3. その他
該当事項なし。

Ⅲ. 研究成果の刊行一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
足立壮一	急性骨髄性白血病（小児）	直江知樹、堀部敬三	チーム医療のための血液がんの標準的化学療法	メディカル・サイエンス・インターナショナル	東京都	2013	279-293
足立壮一	小児急性骨髄性白血病	金倉譲	ここまできた白血病/MDS治療	中山書店	東京都	2013	233-241
Shigeki Yagyu, Tomoko Iehara and Hajime Hosoi	A Novel Diagnostic Tool for Therapy Stratification of Neuroblastoma: Preoperative Analysis of Tumor Biology Using Circulating Tumor-Released DNA in Serum	Hiroyuki Shimada	Neuroblastoma	INTECH	Croatia	2013	On line
工藤寿子	重症先天性好中球減少症	田村和夫	日本臨床別冊血液症候群Ⅱ	日本臨床社	大阪市	2013年	41-45
工藤寿子	Shwachman 症候群	田村和夫	日本臨床別冊血液症候群Ⅱ	日本臨床社	大阪市	2013年	46-49
堀 浩樹	フォローアップレベル	前田美穂	小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン	医薬ジャーナル社	東京	2013	12-16
堀 浩樹	急性骨髄性白血病	前田美穂	小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン	医薬ジャーナル社	東京	2013	29-32

堀 浩樹	肝芽腫	前田美穂	小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン	医薬ジャーナル社	東京	2013	104-108
堀 浩樹	横紋筋肉腫	前田美穂	小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン	医薬ジャーナル社	東京	2013	130-145
堀 浩樹	骨・筋・軟部組織・皮膚の合併症	前田美穂	小児がん治療後の長期フォローアップガイド	医薬ジャーナル社	東京	2013	251-254
堀 浩樹	予防接種ガイドライン	前田美穂	小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン	医薬ジャーナル社	東京	2013	312-316

雑誌

(*別刷り添付あり)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shum CK, Lau S T, Tsoi LL, Chan LK, Yam JW, Ohira M, Nakagawara A, Tam PK, Ngan ES.	Krüppel-like factor 4 (KLF4) suppresses neuroblastoma cell growth and determines non-tumorigenic lineage differentiation.	Oncogene	32	4086-4099	2013
Chand D, Yamazaki Y, Ruuth K, Schönherr C, Martinsson T, Kognert P, Attiyeh EF, Maris J, Morozova O, Marra MA, Ohira M, Nakagawara A, Sandström PE, Palmer R, Hallberg B.	Cell culture and Drosophila model systems define three classes of anaplastic lymphoma kinase mutations in neuroblastoma.	Dis Model Mech	6	373-382	2013
Nozato M, Kaneko S, Nakagawara A, Komuro H.	Epithelial-mesenchymal transition-related gene expression as a new prognostic marker for neuroblastoma.	Int J Oncol	42	134-140	2013(*)

Wu D, Ozaki T, Yoshihara Y, Kubo N, Nakagawara A.	Runt-related Transcription Factor 1 (RUNX1) Stimulates Tumor Suppressor p53 in Response to DNA Damage Through Complex Formation and Acetylation.	J Biol Chem	288	1353-1364	2013(*)
Kubo N, Wu D, Yoshihara Y, Sang M, Nakagawara A, Ozaki T.	Co-chaperon DnaJC7/TPR2 enhances p53 stability and activity through blocking the complex formation between p53 and MDM2.	Biochem Biophys Res Commun	430	1034-1039	2013
Sugimoto T, Gotoh T, Yagyu S, Kuroda H, Iehara T, Hosoi H, Ohinata S, Ohira M, Nakagawara A.	A MYCN-amplified cell line derived from a long-term event-free survivor among our sixteen established neuroblastoma cell lines.	Cancer Lett	331	115-121	2013(*)
Takagi D, Tsumi Y, Yokochi T, Takatori A, Ohira M, Kamijo T, Kondo S, Fujii Y, Nakagawara A.	Novel adaptor protein Shf interacts with ALK receptor and negatively regulates its downstream	Cancer Sci	104	563-572	2013(*)
Yamaki T, Suenaga Y, Iuchi T, Aizawa J, Takatori A, Itami M, Araki A, Ohira M, Inoue M, Kageyama H, Yokoi S, Sasaki N, Nakagawara A.	Temozolomide suppresses MYC via activation of TAp63 to inhibit progression of human glioblastoma.	Sci Rep	3	1160	2013
Ozaki T, Wu D, Sugimoto H, Nakagawara A.	Runt-related transcription factor 2 (RUNX2) inhibits p53-dependent apoptosis through the collaboration with HDAC6 in response to DNA damage.	Cell Death Dis	4	e610	2013
Asada K, Watanabe N, Nakamura Y, Ohira M, Westermann F, Schwab M, Nakagawara A, Ushijima T.	Stronger Prognostic Power of the CpG Island Methylator Phenotype than Methylation of Individual Genes in Neuroblastoma.	Jpn J Clin Oncol	43	641-645	2013
Li Y, Nakagawara A.	Apoptotic cell death in neuroblastoma.	Cells	2	432-459	2013

Zhu Y, Li Y, Haraguchi S, Yu M, Ohira M, Ozaki T, Nakagawa A, Ushijima T, Isogai E, Koseki H, Nakamura Y, Kong C, Mehlen P, Arakawa H, Nakagawara A.	Dependence receptor UNC5D mediates nerve growth factor depletion-induced neuroblastoma regression.	J Clin Invest	123	2935-2947	2013
Itakura M, Terashima Y, Shingyoji M, Yokoi S, Ohira M, Kageyama H, Matui Y, Yoshida Y, Ashinuma H, Moriya Y, Tamura H, Harigaya K, Matushima K, Iizasa T, Nakagawara A, Kimura H.	High CC chemokine receptor 7 expression improves postoperative prognosis of lung adenocarcinoma patients.	Br J Cancer	109	1100-1108	2013
Ozaki T, Nakagawara A, Nagase H.	RUNX Family Participates in the Regulation of p53-Dependent DNA Damage Response.	Int J Genomics	2013	271347	2013
Hasan MK, Nafady A, Takatori A, Kishida S, Ohira M, Suenaga Y, Hossain S, Akter J, Ogura A, Nakamura Y, Kadomatsu K, Nakagawara A.	ALK is a MYCN target gene and regulates cell migration and invasion in neuroblastoma.	Sci Rep	3	3450	2013(*)
Ando K, Ozaki T, Hirota T, Nakagawara A.	NFBD1/MDC1 Is Phosphorylated by PLK1 and Controls G2/M Transition through the Regulation of a TOPOII α -Mediated Decatenation Checkpoint.	PLoS One	8	e82744	2013
Yu F, Gao W, Yokochi T, Suenaga Y, Ando K, Ohira M, Nakamura Y, Nakagawara A.	RUNX3 interacts with MYCN and facilitates protein degradation in neuroblastoma.	Oncogene		Accepted	2013

Yamazaki F, Nakazawa A, Osumi T, Shimojima N, Tanaka T, Nakagawara A, Shimada H.	Two cases of neuroblastoma comprising two distinct clones.	Pediatr BloodCancer	61	760-762	2014
Suenaga Y, S. M. Rafiqul Islam, Jennifer Alagu, Kaneko Y, Kato M, Tanaka Y, Kawana H, Hossain S, Matsumoto D, Yamamoto M, Shoji W, Itami M, Shibata T, Nakamura Y, Ohira M, Haraguchi S, Takatori A, Nakagawara A.	NCYM, a Cis-Antisense Gene of <i>MYCN</i> , Encodes a De Novo Evolved Protein that Inhibits GSK3 β Resulting in the Stabilization of <i>MYCN</i> in Human Neuroblastomas.	PLOS Genet	10	e1003996	2014
Nakamura Y, Suganami A, Fukuda M, Hasan MK, Yokochi T, Takatori A, Satoh S, Hoshino T, Tamura Y, Nakagawara A.	Identification of novel candidate compounds targeting TrkB to induce apoptosis in neuroblastoma.	Cancer Med		in press	2014
Mosse YP, Deyell IRJ, Berthold F, Nakagawara A, Ambros PF, Monclair T, Cohn SL, Pearson AD, London WB, Matthay KK.	Neuroblastoma in older children, adolescents and young adults. A report from the International Neuroblastoma Risk Group Project.	Pediatr BloodCancer		in press	2014
Yamaguchi Y, Takenobu H, Ohira M, Nakazawa A, Yoshida S, Akita N, Shimozato O, Iwama A, Nakagawara A.	Novel 1p tumor suppressor DMAP1 regulates <i>MYCN</i> /ATM/p53 pathway.	Eu J Cancer		in press	2014

Oshiro Y, Mizumoto M, Okumura T, Sugahara S, Fukushima T, Ishikawa H, Nakao T, Hashimoto T, Tsuboi K, Ohkawa H, Kaneko M and Sakurai H.	Clinical results of proton beam therapy for advanced neuroblastoma.	Radiation Oncology	8	142-149	2013(*)
大城佳子、水本斉志、石川仁、奥村敏之、坪井康次、榮武二、福島敬、須磨崎亮、増本幸二、金子道夫、櫻井英幸	第54回日本小児血液・がん学会学術集会シンポジウム4 固形腫瘍の治療の進歩 小児固形がんに対する陽子線治療	日本小児血液・がん学会雑誌	50(3)	331-335	2013
Iehara T, Hamazaki M, Tajiri T, Kawano Y, Kaneko M, Ikeda H, Hosoi H, Sugimoto T, Sawada T; Japanese Infantile Neuroblastoma Cooperative Study Group.	Successful treatment of infants with localized neuroblastoma based on their <i>MYCN</i> status.	Int J Clin Oncol	18(3)	389-95	2013(*)
Sugimoto T, Gotoh T, Yagyu S, Kuroda H, Iehara T, Hosoi H, Ohta S, Ohira M, Nakagawara A.	A <i>MYCN</i> -amplified cell line derived from a long-term event-free survivor among our sixteen established neuroblastoma cell lines.	Cancer Lett	331(1)	115-21	2013
Yoshida H, Miyachi M, Sakamoto K, Ouchi K, Yagyu S, Kikuchi K, Kuwahara Y, Tsuchiya K, Imamura T, Iehara T, Kakazu N, Hinojo H, Hosoi H.	PAX3-NCOA2 fusion gene has a dual role in promoting the proliferation and inhibiting the myogenic differentiation of rhabdomyosarcoma cells.	Oncogene		in press	2013

Yoshida H, Imamura T, Sakamoto K, Asai D, Nakatani T, Morimoto A, Hosoi H.	Dyskeratosis Congenita Complicated by Hepatic Fibrosis With Hepatic Vein Thrombosis.	J Pediatr Hematol Oncol		in press	2013
Damgaard Sandahl J, Coenen EA, Forestier E, Harbott J, Johansson B, Kerndrup G, Adachi S, Auvrignon A, H Beverloo HB, Cayuela JM, Chilton L, Fornerod M, de Haas V, Harrison CJ, Inaba H, Kaspers GJL, Liang DC, Locatelli F, Masetti R, Perot C, Raimondi S, Reinhardt K, Tomizawa D, von Neuhoff N, Zecca M, Zwaan CM, van den Heuvel-Eibrink MM, and Haslet H.	(6;9)(p22;q34)/DEK-NUP214 rearranged pediatric myeloid leukemia: an international study on 62 patients	Haematologica		in press	2014
Kojima, M., Hiyama, E., Fukuba, I., Yamaoka, E., Ueda, Y., Onitake, Y., Kurihara, S., and Sueda, T.	Detection of <i>MYCN</i> amplification using blood plasma: noninvasive therapy evaluation and prediction of prognosis in neuroblastoma.	Pediatr Surg Int	29	1139-1145	2013(*)

Daifu, T, Kato I, Kozuki K, Umeda K, Hiramatsu H, Watanabe K, Kamiya I, Taki T, Nakahata T, Heike T, Adachi S	The significance of genetic testing for t(8;16)(p11;p13) in congenital acute myeloid leukemia.	Ped Hematol Oncol		in press	
Muramatsu H, Sakaguchi H, Taga T, Tabuchi K, Adachi S, Inoue M, Kitoh T, Suminoe A, Yabe H, Azuma E, Shioda Y, Ogawa A, Kinoshita A, Kigasawa H, Osugi Y, Koike K, Kawa K, Kato K, Atsuta Y, Kudo K.	Reduced intensity conditioning in allogeneic stem cell transplantation for AML with Down syndrome.	Pediatr Blood Cancer		in press	
Tomizawa D, Tawa A, Watanabe T, Moriya Saito A, Kudo K, Taga T, Iwamoto S, Shimada A, Terui K, Moritake H, Kinoshita A, Takahashi H, Nakayama H, Kiyokawa N, Isoyama K, Mizutani S, Hara J, Horibe K, Nakahata T, Adachi S.	Appropriate dose reduction in induction therapy is essential for the treatment of infants with acute myeloid leukemia: A report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group.	Int J Hematol	98(5)	578-588	2013(*)

<p>Shiba N, Funato M, Ohki K, Park MJ, Mizushima Y, Adachi S, Kobayashi M, Kinoshita A, Sotomatsu M, Arakawa H, Tawa A, Horibe K, Tsukimoto I, Hayashi Y.</p>	<p>Mutations of the GATA2 and CEBPA genes in paediatric acute myeloid leukaemia.</p>	<p>Brit J Haematol</p>	<p>164</p>	<p>142-159</p>	<p>2014(*)</p>
<p>Yoshida K, Toki T, Okuno Y, Kanezaki R, Shiraishi Y, Sato-Otsubo A, Sanada M, Park M, Terui K, Suzuki H, Kon A, Nagata Y, Sato Y, Wang R, Shiba N, Chiba K, Tanaka H, Hama A, Muramatsu H, Hasegawa D, Nakamura K, Kanegane H, Tsukamoto K, Adachi S, Kawakami K, Kato K, Nishimura R, Izraeli S, Hayashi Y, Miyano S, Kojima S, Ito E, Ogawa S.</p>	<p>The landscape of somatic mutations in Down syndrome-related myeloid disorders</p>	<p>Nature Genet</p>	<p>45(11)</p>	<p>1293-1299</p>	<p>2013(*)</p>

Shiba N, Ichikawa H, Taki T, Park MJ, Jo A Mitani S, Kobayashi T, Shimada A, Sotomatsu M, Arakawa H, Adachi S, Tawa A, Horibe K, Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I, and Hayashi Y.	<i>NUP98-NSD1</i> Gene Fusion and its Related Gene Expression Signature are Strongly Associated with a Poor Prognosis in Pediatric Acute Myeloid Leukemia.	Genes, Chromosomes & Cancer	52(7)	683-693	2013(*)
Shinzato A, Tabuchi K, Atsuta Y, Inoue M, Inagaki J, Yabe H, Koh K, Kato K, Ohta H, Kigasawa H, Kitoh T, Ogawa A, Takahashi Y, Sasahara Y, Kato S, Adachi S.	PBSCT is associated with poorer survival and increased chronic GvHD than BMT in Japanese paediatric patients with acute leukaemia and an HLA-matched sibling donor.	Pediatr Blood Cancer	60(9)	1513-1519	2013(*)
Sano H, Shimada A, Tabuchi K, Taki T, Murata C, Park MJ, Ohki K, Sotomatsu M, Adachi S, Tawa A, Kobayashi R, Horibe K, Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I, Hayashi Y.	WT1 mutation in pediatric patients with acute myeloid leukemia: a report from the Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	Int J Hematol	98(4)	437-445	2013(*)

Tomizawa D, Tawa A, Watanabe T, Moriya Saito A, Kudo K, Taga T, Iwamoto S, Shimada A, Terui K, Moritake H, Kinoshita A, Takahashi H, Nakayama H, Koh K, Kigasawa H, Kosaka Y, Miyachi H, Horibe K, Nakahata T, Adachi S.	Excess treatment reduction including anthracyclines results in higher incidence of relapse in core binding factor acute myeloid leukemia in children.	Leukemia	27(12)	2413-6	2013(*)
高橋浩之, 盛武浩 , 照井君典, 井上 彰子, 落合秀匡, 金井理恵, 豊田秀 実, 松野良介, 塩 原正明, 中尾朋平 , 富澤大輔, 多賀 崇, 多和昭雄, 足 立壮一	小児急性前骨髄球性 白血病に対する三酸 化ヒ素による治療.	日本小児血液 ・がん学会雑誌	50(1)	32-37	2013
Horibe K, Saito AM, Takimoto T, Tsuchida M, Manabe A, Shima M, Ohara A, Mizutani S.	Incidence and survival rates of hematological malignancies in Japanese children and adolescents (2006-2010): based on registry data from the Japanese Society of Pediatric Hematology.	Int J Hematol	98(1)	74-88	2013(*)

Tanaka Y, Matsushita H, Tanaka Y, Maruki Y, Kondo T, Asai S, Miyachi H.	Evaluation of the body fluid mode of automated hematology analyzer XN-Series for extreme ly low peripheral White Blood Cell Counts.	Intern J Lab Hematol	36	1-6	2014
Asai S, Okami K, Nakamura N, Shiraishi S, Sugimoto R, Anar D,Sato S, Matsushita H, Suzuki Y, Miyachi H.	Localized or diffuse lesions of the submandibular glands in IgG4-related disease in association with differential organ involvement.	J Ultrasound Med	32	731-736	2013
Shiba N, Ohki K, Park MJ, Sotomatsu M, Kudo K, Ito E, Sako M, Arakawa H, Hayashi Y.	SETBP1 mutations in juvenile myelomonocytic leukaemia and myelodysplastic syndrome but not in paediatric acute myeloid leukaemia.	Br J Haematol		in press	
Park MJ, Sotomatsu M, Ohki K, Arai K, Maruyama K, Kobayashi T, Nishi A, Sameshima K, Takagi T, Hayashi Y.	Liver disease is frequently observed in Down syndrome patients with transient abnormal myelopoiesis.	Int J Hematol		in press	

Toki T, Kanezaki R, Kobayashi E, Kaneko H, Suzuki M, Wang R, Terui K, Kanegane H, Maeda M, Endo M, Mizuochi T, Adachi S, Hayashi Y, Yamamoto M, Shimizu R, Ito E.	Naturally occurring oncogenic GATA1 mutants with internal deletions in transient abnormal myelopoiesis in Down syndrome.	Blood	121	3181-3184	2013(*)
Nishimura R, Takita J, Sato-Otsubo A, Kato M, Koh K, Hanada R, Tanaka Y, Kato K, Maeda D, Fukayama M, Sanada M, Hayashi Y, Ogawa S.	Characterization of genetic lesions in rhabdomyosarcoma using a high-density single nucleotide polymorphism array.	Cancer Sci	104	856-864	2013
Shiraishi Y, Sato Y, Chiba K, Okuno Y, Nagata Y, Yoshida K, Shiba N, Hayashi Y, Kume H, Homma Y, Sanada M, Ogawa S, Miyano S.	An empirical Bayesian framework for somatic mutation detection from cancer genome sequencing data.	Nucleic Acids Res	41	e89	2013
Wakai K, Sano H, Shimada A, Shiozawa Y, Park MJ, Sotomatsu M, Yanagisawa R, Koike K, Kozawa K, Ryo A, Tsukagoshi H, Kimura H, Hayashi Y.	Cytomegalovirus retinitis during maintenance therapy for T-cell acute lymphoblastic leukemia.	J Pediatr Hematol Oncol	35	162-163	2013

<p>Kato M, Takahashi Y, Tomizawa D, Okamoto Y, Inagaki J, Koh K, Ogawa A, Okada K, Cho Y, Takita J, Goto H, Sakamaki H, Yabe H, Kawa K, Suzuki R, Kudo K, Kato K.</p>	<p>Comparison of intravenous with oral busulfan in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation with myeloablative conditioning regimens for pediatric acute leukemia.</p>	<p>Biol Blood Marrow Transplant</p>	<p>19(12)</p>	<p>1690-1694</p>	<p>2013</p>
<p>Blink M, Zimmermann M, Neuhoff CV, Reinhardt D, Haas VD, Hasle H, O' Brien MM, Stark B, Tandonnet J, Pession A, Tousovska K, Cheuk DK, Kudo K, Taga T, Rubnitz JE, Haltrich I, Balwierz W, Pieters R, Forestier E, Johansson B, van den Heuvel-Eibrink MM, Zwaan CM.</p>	<p>Normal karyotype is a poor prognostic factor in Myeloid Leukemia of Down Syndrome: a retrospective international study.</p>	<p>Haematologica</p>	<p>99</p>	<p>299-307</p>	<p>2013</p>

Narita A, Muramatsu H, Sakaguchi H, Doisaki S, Tanaka M, Hama A, Shimada A, Takahashi Y, Yoshida N, Matsumoto K, Kato K, Kudo K, Furukawa-Hibi Y, Yamada K, Kojima S.	Correlation of CYP2C19 Phenotype With Voriconazole Plasma Concentration in Children.	J Pediatr Hematol Oncol	120(9)	e219-23	2013
Suzuki M, Ito Y, Shimada A, Saito M, Muramatsu H, Hama A, Takahashi Y, Kimura H and Kojima S.	Long-Term Parvovirus B19 Infections With Genetic Drift After Cord Blood Transplantation Complicated by Persistent CD4+ Lymphocytopenia.	J Pediatr Hematol Oncol	36(1)	e65-8	2013
Lundqvist A, Smith AL, Takahashi Y, Wong S, Bahceci E, Cook L, Ramos C, Tawab A, McCoy JP Jr, Read EJ, Khuu HM, Bolan CD, Joo J, Geller N, Leitman SF, Calandra G, Dunbar C, Kurlander R, Childs RW.	Differences in the Phenotype, Cytokine Gene Expression Profiles, and In Vivo Alloreactivity of T Cells Mobilized with Plerixafor Compared with G-CSF.	J Immunol	191(12)	6241-6249	2013